

第6回所沢市放課後児童対策協議会

会 議 録

平成31年2月12日

様式1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第6回所沢市放課後児童対策協議会
開 催 日 時	平成31年2月12日(火) 午後1時15分から午後2時30分まで
開 催 場 所	市庁舎 低層棟3階 第6委員会室
出席者の氏名	(会議録別表1)のとおり
欠席者の氏名	後藤 敏隆、鈴木 勢津子
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 「重点事業への提案」(答申)について (2) その他
会 議 資 料	(1) 答申(案2) (2) 重点事業に対する委員意見一覧 (3) 諮問書(写)
担 当 部 課 名	こども未来部青少年課 こども未来部長 本田 静香 こども未来部次長 町田 真治 青少年課課長 森田 茂明 副主幹 奈良 和子 主任 相笠 豊 主任 小貫 多加志 電話 04(2998)9103

(会議録別表1)

所沢市放課後児童対策協議会委員 名簿

	種別	名前	出欠席 状況	所属等
1	(1) 公募による市民	宇佐美 由美子	出席	
2		渡邊 広実	出席	
3	(2) 関係団体の代表者	高田 美智子	出席	民生委員・児童委員連合会（吾妻地区 会長）
4		渡辺 昭子	出席	青少年育成所沢市民会議（青少年育成 推進員協議会会長）
5		後藤 敏隆	欠席	P T A 連合会（和田小学校 P T A 会長）
6		小野寺 耕二	出席	自立支援協議会（社会福祉法人藤の実 会）
7		金丸 慎一郎	出席	放課後児童健全育成事業者（株式会 社がくどう舎）
8		小沢 貞泰	出席	放課後こども教室実施校（北秋津小学 校ほうかごところとんぼキッズ）
9	(3) 知識経験を有する 者	笹井 宏益	出席	玉川大学学術院研究所教授
10	(4) 所沢市立小学校の 校長	鈴木 勢津子	欠席	所沢市立小中学校校長会（所沢市立林 小学校長）

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p> <p><input type="checkbox"/> 傍聴者入場（3人）</p> <p><input type="checkbox"/> 会議資料の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 会議成立の報告 欠席者2名。出席委員が、委員総数の過半数を超えていることを確認し、会議が成立したことを報告した。</p> <p><input type="checkbox"/> 本日のスケジュール及び進行について 本日は任期中最後の協議会であり、本日の会議において、答申をとりまとめ、会議終了後に、会長と副会長から市長へ答申を提出する予定である。 市長への提出を15時15分からとしているため、本日の審議の結果を調整する時間も考慮し、会議の終了は14時30分を予定している。 委員には、会議の円滑な進行について配慮をお願いしたい。</p>
会長 事務局	<p>2 議 事</p> <p>（1）「重点事業への提案」（答申）について それでは、議事1について、事務局より説明をお願いします。 議事1に先立って、答申の完成に向けて2点確認したい。本日は議事1について審議を行い、本会議終了後に完成した答申を市長へ提出する予定である。 1点目は、答申の趣旨等に関する大きな変更を伴う意見については、この場で審議を行い、答申案への反映について合意形成を図りたい。 2点目は、影響の少ない各論に係る意見については、会議終了後に会長・副会長と事務局にて、答申案への反映について検討し、決定したい。 なお、いずれの場合も、答申としての文言については、一任いただきたい。 このような流れで進めたいと考えているが、いかがか。</p>
会長	<p>事務局から、議事1の審議における意見を、どのように答申案に反映させるか、その流れについて説明があった。 まとめると、 ① 意見が答申の内容に大きく影響を及ぼすだろうと思われる場合には、その場で協議会としての合意形成を図る。 ② 意見が各論である場合には、特に合意形成は図らず、答申案への反映について会長・副会長と事務局で協議することで、一任する。</p>

委員	この流れについて、質疑等いかがか。
会長	～なし～ それでは、この流れで会議を進めることとする。引き続き議事1について、事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より、議事1の説明の前に、前回会議の議事2「開所時間について」の補足を行った。 現在の18時30分までとする開所時間は、児童の一人帰り、児童が18時30分にクラブを降所し、保護者は児童の帰宅時間に合わせて勤務先から直接帰宅することも想定した時間である。 一方、現在はクラブへのお迎えを原則としており、保護者は18時30分までにクラブに到着できるよう、勤務先から帰宅する必要がある。 このように、開所時間が設定された当時と現在とでは、児童の帰宅方法の違いにより保護者のお迎えに要する時間が異なる点を説明した。
会長	事務局の説明について質疑等いかがか。また、各委員はこの補足説明を踏まえて意見提出フォームを提出しているということによろしいか。
委員	～なし～
会長	特に意見の変更はないということで審議を続けることとする。それでは引き続き議事1について、事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局より、資料3「諮問書(写)」の内容を確認した後、資料1「答申(案2)」に基づき、前回の協議会での意見を踏まえて「答申(案1)」との変更点について説明した。また、資料2「重点事業に対する委員意見一覧」に基づき、委員の意見を紹介した。
会長	事務局より、「答申(案2)」について、前回の協議会での意見を反映し、修正した点について説明があった。「答申(案2)」は事前に各委員へ郵送し、確認をお願いしており、内容変更に関する意見は特に無い、と報告があった。それでは質疑等いかがか。
委員	「答申(案2)」の諮問の発送番号が124号となっているが、正しくは123号ではないか。
事務局	123号が正しいので修正する。
委員	内容変更に関することではないが、重点事業2と3を区別する必要性がなくなりつつあると感じる。2が3に寄ってきて、吸収されていくのではないか。また、今後、新たに委員になる方にとって、2と3の区別は分かりにくい。
事務局	重点事業2. ほうかごところは教育委員会所管となっており、「答申(案2)」には、ほうかごところについての基本方針が示されている。重点事業3. 放課後子ども総合プラン推進事業は、ほうかごところと児童クラブの一体型・連携型を推進するもので、青少年課が取り組むこととなっているため、現在は区別してい

委員	<p>るが、委員が指摘した通り、今後はほうかごところが既存の児童クラブとの一体型・連携型に寄ってくると捉えることもできるので検討していきたい。</p> <p>放課後児童クラブは厚生労働省、ほうかごところは文部科学省という所管官庁の違いがあるが、そういった大人の都合の壁を低くして、連携を図りながら目の前の子ども達のことを考えていこう、というのが重点事業3の位置付けであると理解している。重点事業3が充実してくると、重点事業2が吸収されてくるという方向付けができると思うが、現状ではほうかごところ11か所のうち連携できているのが2か所となっているため、もう少し進捗があってから、また検討すれば良いのではないか。</p>
委員	<p>重点事業1の開所時間について、「ニーズへの対応の検討が必要である」の表現だと、なぜ、この場で検討しないのか、となってしまうのではないか。「…検討も必要である」にしてはどうか。委員意見は「現状のまま」と「延長」がほぼ同数だったので、この表現のままにするのはどうかと思う。</p>
会長	<p>「検討も」にすると、付け足しているような印象になる。事務局は、当面は18時30分を継続しつつ、今後延長について本格的に検討を進めるとしてまとめているのではないか。「検討が」のほうが強い表現に感じられる。</p>
委員	<p>資料2では、委員意見を現状と延長に区別しているが、積極的に変えようという意見はない。支援員の処遇改善が担保されるなら延長しても良い、というような意見はある。重要だと思ったのは、「18時30分以降、真に保育が必要な家庭がある」という部分である。本当に手を差し伸べなければならない家庭とは何かについて議論を重ねてきた気がしていて、それが文字になっているのだと思っている。それがあるから検討を進めていく、とか、さらに深める、ということがあっても良いのではないか。検討をする必要がない、ということではないと思う。個々の児童クラブの事情によってどのように進めていけば良いか、について今後検討する中で延長がテーマとして上がってきて、その結果、延長が必要となるかもしれないし、不要となるかもしれない。</p> <p>保育園の開園時間が8時までで、夕食が出ることと比較されて、放課後児童クラブもせめて7時まで開所するべきだ、という流れになってしまうのは危険だと感じる。仮に7時までの開所が実現すると、今度は8時までという方向へ行く恐れがある。このことは小1の壁とは違う問題であることを、行政サイドから丁寧に説明する必要があるのではないか。</p> <p>前回協議会の利用状況に関する資料の中で、7時以降の利用も少ないながらもあったことを考えると、延長も無視できないことだとは思っている。ただ、この問題については短時間で結論を出すことは難しく、もう少し検討が必要であるから、「答申（案2）」の表現で良いのではないか。</p>
委員	<p>私は現状のままが良い、という意見を述べた。福祉側のニーズが多様化してい</p>

	<p>て家庭が成り立たず、家庭内での子どもの成長が担保できない。何か他にサービスがあれば良いが、今はないため、現状のままでも、やむをえないと感じている。先ほどの意見でもあったが、保育所との横並びになるものではないと感じているので、開所時間は少しでも短くできたほうが良いと思う。</p> <p>私自身が子育てをしているが、子どもが遅くに帰ってくると、全て後ろにずれてしまい、生活リズムも崩れる。検討は必要だが、今すぐというのではなく、今後も検討を続けたほうが良いと思うので、「答申（案2）」の表現で違和感はない。延長のニーズは確実にあり、それが少数意見だったとしても、そこに課題があると感じる。</p>
委員	<p>「18時30分以降、真に保育が必要な家庭」が今後増えてくると思う。すぐに答えが出ることではないと思うので、今回は「答申（案2）」の表現で良いと思う。今後も検討を続けていく課題だと思っている。</p>
委員	<p>事業の運営のことや子どものことを考えると、できれば延長したくない、という気持ちはある。支援員の確保が難しいので、処遇改善したい、という思いもある。開所時間延長と支援員の処遇改善を天秤にかけるのはもどかしい。すぐに結論を出せる問題ではないので、「答申（案2）」の表現のままで良いと思う。</p>
委員	<p>放課後児童クラブに通っている子どもの中には、友達の親にスキップを求めてきたりすることがあるので、もっと親とのふれあいが必要だと感じる。仕事があるからどうしても預けることになると思うが、もっと親が子どもを見てあげる時間があれば良いのに、と思ってしまう。18時30分までにお迎えができるのに、開所時間の延長によってお迎えが遅くなるとしたら不安である。一生懸命仕事をされている保護者が18時30分ぎりぎりでも何とかお迎えに間に合っていることを考えると、延長を検討することも必要だと考えるので、延長の検討をしつつ現状のままとする、「答申（案2）」の表現で良いと思う。</p>
委員	<p>働きたかったが、預けられなかったことがある。地域差があると感じる。少しでも預けられる所があると、働く母親にはありがたい。</p>
会長	<p>他に質疑等いかがか。</p> <p>～なし～</p> <p>それでは「答申（案2）」を答申として確定する。</p> <p>議事1については、以上とする。</p>
会長 事務局	<p>(2) その他</p> <p>続いて、議事2「その他」について、事務局よりお願いする。</p> <p>3点ある。1点目は、副会長が平成31年2月5日（火）に「平成30年度 第3回子ども・子育て会議」に出席したため、報告をいただきたい。</p> <p>それでは、副会長より報告をお願いしたい。</p>

副会長	<p>平成30年度第3回所沢市子ども・子育て会議が先週の2月5日(火)に、子どもと福祉の未来館で開催された。</p> <p>今回は、「教育・保育施設等の利用定員」、「子ども・子育て支援事業計画の平成30年度見直し版」、「アンケート調査結果の速報」、「第2期子ども・子育て支援事業計画の策定方針」などが議題として取り上げられた。</p> <p>説明の中で、今年の10月から保育園の無料化が始まるということで、行政サイドとしても数字がどのように変化して行くかが分からない、ということが印象に残った。平成31年度までの5か年計画で今まで進んできて、毎年人数が変わるごとに微調整しながら定員や待機児童の話をしてきたのだが、次の5か年計画のためのアンケートを取るのが今年度の下期になる。アンケート結果がどのようなになるか予測が難しいのだろうという印象を受けた。</p> <p>放課後児童対策に関連する事項としては、前回の第5回協議会にて小学生版の調査表の審議をした「所沢市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査」の調査結果の速報値について報告があり、これからさらに分析を進めて行くことになるとのことである。先ほどの微調整の話になるが、アンケート結果の数字に振り回されているという印象を持っている。子どもを預けたいが待機になってしまうという切実な家庭もあることはよく分かるが、一方で需要に対する供給量をどれだけ確保できたか、について一喜一憂することにもなる。子ども・子育て会議では、数字に幅を持たせて少し大らかに扱っていかないと、厳密な数字の話になって議論が先鋭化し、本質を見失ってしまうのではないか、という意見を述べさせていただいた。</p> <p>今後は、このアンケート調査結果と国の基本方針や手引きに基づき、「第2期子ども・子育て支援事業計画」が策定されることになるとのことである。放課後児童対策に関しては、子ども・子育て会議から本協議会へ依頼があるかもしれないので、本協議会は重要な役割を果たしていると感じる。今後も引き続き橋渡しの役割を務めていくのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>副会長には、本協議会の代表として大変ご尽力いただいた。この場を借りて、お礼申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、引き続き、事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>2点目は、会議の冒頭でも説明したが、本日の15時15分より、会長、副会長には、本協議会を代表して、市長へ本協議会の2年間の成果である答申の提出をお願いしたい。</p> <p>最後に3点目は、委員の任期は平成31年6月30日であるが、本日の会議にて、本協議会に対する市長からの諮問事項に関する審議が終了したので、会議の開催は本日が最後となる。</p> <p>2年間にわたり、委員には大変多くの時間をいただき、熱心な審議をいただき</p>

<p>会長 委員 会長</p>	<p>た。改めて、心よりお礼申し上げる。 なお、新年度になると、新たに委員を委嘱する必要が生じる。関係団体からは、あらためて推薦などいただくこともあるため、よろしくお願いいたします。 事務局の説明について、質疑等いかがか。 ～なし～ それでは、以上をもって、全ての議事が終了した。少し時間に余裕があるため、各委員から挨拶をお願いしたい。 ～各委員・会長より挨拶～ それでは、進行を事務局にお返しする。</p>
<p>事務局</p>	<p>3 閉 会 委員には、本市の放課後児童対策のためにご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。閉会にあたって、こども未来部長の本田より、委員へお礼申しあげる。 ～部長より委員へお礼の挨拶～</p>
<p>事務局</p>	<p>以上をもって、第6回所沢市放課後児童対策協議会を閉会とする。 2年間という長い期間にわたり、協力いただいたこと、厚くお礼申し上げます。</p> <p>4 答申の修正 会長、副会長、事務局で、協議会の意見を踏まえて、答申の修正を行い、確定した。</p>
	<p>以上</p>